

“Dr. ジャン・ティーのヒューマンファクター研究室”

No. 4 〈依存〉

タイトル：「人まかせ」にしていますか？

【事例】

2名で配管フランジボルトの締め付け作業をしていました。

作業員は繰り返しの作業だったため、全てのボルトをきちんと締めつけたかどうか心配になりましたが、もう一人の作業員（作業管理者）が手順をチェックしてくれていたため安心していました。作業管理者も、作業員が経験豊富であったことから、作業にミスが生じるとも思わず、漫然と作業手順をチェックしていました。

作業員と確認者、双方がまかせ合っていたためボルトのゆるみを見逃してしまいました

【解説】

共同作業者とは信頼感を持って協力しつつ、他者依存に陥らないことが大切です。

集団での共同作業、チーム内に頼りになるメンバーがいる場合や作業確認者がいる場合など、複数の人が一緒に作業をする状況では、周囲に対する安心感から、本人の気づかぬうちに自然と個人の能力が発揮できなくなってしまいます。

このような人の心の変化を心理学では「社会的手抜き」と言います。「社会的手抜き」の状態で行うと、個人の十分な能力が発揮されず、結果として作業の質が下がってしまいます。

共同作業者に対する尊敬、信頼は大切なことですが、過度の信頼は「社会的手抜き」を誘発します。また、意図しておこる現象ではないため、自分がその状態に陥っていることに気づけず、対策は困難です。しかし、「役割分担」や「責任の所存」をはっきりさせることで、個々人に使命感・責任感が芽生え、「社会的手抜き」に陥りにくくなります。

【こんなことを思った時は要注意！】

- ・彼は経験豊富だから間違いないよな
- ・管理者がチェックしてくれているから安心だよな

「人まかせ」にならないよう、「自分がしっかりやるんだ！」といった使命感・責任感を持って作業に臨み、依存心が生むトラブルを防ぎましょう。